

令和4年度

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

○お問い合わせ 情報公開センター ☎22-7436

情報公開制度

- 開示請求 1,229 件
- 市の開示決定
 - ① 全部開示=1,097 件 (89.2%)
 - ② 部分開示=114 件 (9.3%)
 - ③ 不開示=18 件 (1.5%)

個人情報保護制度

- 開示請求 259件
- 市の開示決定
 - ① 全部開示=81件 (31.3%)
 - ② 部分開示=174件 (67.2%)
 - ③ 不開示=4件 (1.5%)
- 個人情報ファイル 549件

審査請求の状況

各制度では、市の開示等決定に対して、申請者が審査請求をすることができます。
昨年度は4件の審査請求がありました。

個人情報開示請求の概要（本年度から取り扱いが変わりました）

- 市の機関が保有する自己の個人情報が記載された文書などの開示を求めることができます。
- 開示する文書がある場合は、閲覧または写しの交付を求めることができます。
- 個人情報保護法の改正により、保有個人情報の開示請求を行う場合の取り扱いが変わり、任意代理人や郵送による開示請求などが可能になりました。

※詳しくはこちら▶



写真が語る「いわき」の歴史

駅前広場になるはずだった公園

いわき駅前の幅員30メートル通りを真つ直ぐ南に向かうと、道路の両側には「小太郎公園」が見えてきます。

この公園ができたのは、昭和20（1945）年7月の平空襲によって平（現・いわき）駅前から南方へ細長く焼かれてしまったことに由来します。平市は戦後、国の支援で戦災復興都市計画を策定。本町通りの国道6号を南方へ移設することや焼け出された駅前の家屋群を撤去して駅前通りを設けるといふ、これまでの城下町特有の道路体系を変える抜本的な改造計画でした。さらに、新しい平駅を小太郎町付近に移転する計画も盛り込まれました。しかし、昭和24（1949）年6月、急激なインフレを抑え、緊縮財政による財政健全化を図るため、駅の移転計画は中止となってしまいました。

鉄道ルートは道路（美術館と文化センターの間の通り）へ、駅前広場は公園として転用することになりました。

その後、駅前通りは小名浜へ通じる道路に計画変更されていきますが、昭和30年代初めまでの間、この付近で行き止まりになっていて、平和博覧会や臨

時動物園、サーカスなどのイベント地として活用されてきました。

公園の広さは東西の公園を合わせても0・5ヘクタール。他の多くの都市公園と比べてもさほど大きくはありません。それはかつての計画だった「駅前広場にしては」という条件を付しての印象です。さて、この区画が駅前広場になるはずだった、という歴史を知る人はどの程度いるでしょうか。（いわき地域学會 小宅幸一）



小太郎公園の西公園

一部樹木を植え替えるなどして平成17（2005）年度にリニューアル【令和4（2022）年10月 小宅幸一 撮影】